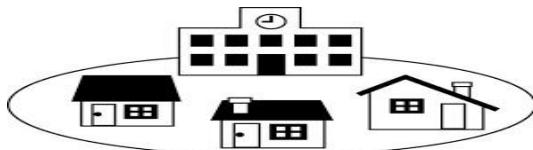


とうせい コミスク便り



令和8年1月22日
1月号

地域未来塾 冬季学習会

12月26日（金）～28日（日）ふれあい交流館で地域学校協働本部主催による「地域未来塾冬季学習会」が開かれました。1年生から6年生まで40名、3日間で延べ101名の子ども達が、分からないところや苦手なところを教えてもらいながら宿題や家庭学習に取り組んでいました。

町のWi-Fiルーターに接続して「タブレットドリルLive!」の宿題に取り組む子、持参したドリルに取り組む子など様々な学習方法で頑張っていました。教育実習生だった武田先生と松本先生も講師として来てくださいました。講師に質問しながら、どの子も集中して学習していました。



おやじの会 スノーラフティング

1月11日（水）、ひじり野公園で、東聖小おやじの会主催、PTA本部共催による「スノーラフティング乗車会」がありました。

ひじり野公園の雪上を高速で滑り、ジャンプやドリフトをするスノーラフティングに、参加した子どもも大人も興奮していました。30名程の参加者があり、北海道らしいアクティビティを楽しんでいました。



二回目は二月十一日の建国記念の日に、東聖小グラウンドで予定しています。



第3回学校運営協議会

文中のCSはコミュニティ・スクール（学校運営協議会）の略です。

東聖小
HP →



12月17日（水）、東聖小学校図書館で第3回学校運営協議会が開かれました。後期学校評価結果、外部評価委員による「本年度の学校運営に関する評価・点検」の熟議等の他、2学期の各部の活動状況の報告や今後についての部会の話合いがありました。

令和7年度学校運営に関する中間評価・点検について

（谷口外部評価委員による評価、委員との質疑応答）

- 運動会では、子ども達のはつらつと活動していた。係活動も立派だった。高齢者用の席もしっかりあった。全校での実施も検討してみてもどうか。
- 学習発表会は、限られた時間の中で内容がよく工夫、吟味されていた。どの学年も楽しそうに子ども達が表現していた。該当学年以外の観覧をしている学校もあるので、検討してみてもどうか。
- PTA研修部や「おうまのおやこ」による絵本の読み聞かせは非常に有効で、心の安定につながる。
- 参観日では、どの学年も活発に活動していた。特別支援学級も素晴らしかった。
- 挨拶は、よくなってきていると感じているが、地区防犯をやっている方の話では、呼び掛けても返事をしない子どもも多く見られるようだ。より一層の挨拶の定着が求められる。
- 体力向上に関わり、自由遊びも充実させていってほしい。
- 学力向上に向け、下位の底上げも大切だが、宿題の是非を検討していく必要があるのではないかと。
- スマホ使用に関わる時間制限など、使い過ぎによる悪影響を非常に危惧している。
⇒東神楽町では、小中一貫推進協議会があり、指導部会でアンケートを取ったり、啓発資料を作ったりして、参観日などを通して保護者に示し、共通理解を図っている。

推進部より

- ・CS第4回は、新年度学校経営方針の確認を行う。
- ・コミスクだよりで学習支援ボランティアを募集することを今後も継続していく。
- ・コミスクだよりを今後もふれあい交流館の公民館事務所掲示板に毎月掲示してもらう。
- ・CSの資料は今後もGoogleドライブに格納しておき、事前に読んでおけるようにする。

支援部より

- ・2学期は予定どおりに活動することができた。
田んぼの学校
稲刈り（9/24） 脱穀作業（10/22）
- ・3学期の支援予定
スノーラフティング（1/11、2/11）
友愛クラブとの交流（2/24）
→昔遊びに限らず実施する
同窓会入会式（3/13）

評価部より

「後期学校評価結果について」

- 本に触れる部分について、実際の貸出冊数も増えており、目標値の達成は評価できる。
 - ・保護者取組評価の文言（「本を読む環境を整えたり、一緒に読書を楽しんだりして本に触れる機会をつくるよう努める」）は、ハードルが高かったのではないかと。
 - ・文言例として、「本について話題にしたり、身近に感じられる環境にしたりしている」等に変えていく必要がある。
- 「基礎・基本の定着を図る等、どの子にも分かる授業をする」の項目で教職員評価が向上したのは喜ばしいが、成績向上につながっていくことを期待したい。
- 児童の自己有用感の上昇は、先生方の声掛けや、子ども同士の交流などが思い浮かべられ、素晴らしい。